

一般社団法人富山県労働者福祉事業協会

「2025 年度事業報告書」

I. 法人の概況

1. 設立と事業

(1) 富山県労働者福祉事業協会の前身

当法人は、1952 年 11 月に設立された富山県勤労者福祉協会(福協)が起源となっており、この福協は、富山県下主要単組代表者及び生活協同組合代表者が協議を行い、地区労福協の連合体として、「労働者福祉」を専門に行う団体として発足したものです。

福協では、1953 年 6 月に富山県勤労者信用組合(現 北陸労働金庫)を誕生させ、福協が行っていた共済事業および物資斡旋は、1958 年に富山県労働者共済生協(現 こくみん共済 coop 富山推進本部)を、1959 年に労働者消費生協(現 とやま生協)を分離独立させました。

1959 年に、上記 3 団体の創設に伴い、福協の設立の目的が達成されたとして、発展的解散を行い、新しい任務と役割を持つ団体に改組することを決定しました。

(2) 労働者福祉事業協会

1959 年 8 月に福協を母体に「富山県労働者福祉事業協会」(任意団体)が創立されました。

1960 年 10 月に労働大臣の許可を得て「社団法人富山県労働者福祉事業協会」(民法第 34 条の公益法人)となりました。

2012 年 4 月 1 日に、公益法人制度改革に伴い、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律に基づき行政庁の認可を受け、「一般社団法人富山県労働者福祉事業協会」となりました。

(3) 関係事業団体の設立

当法人並びに関係事業団体、労働界の協力を得て、1965 年以降新たな事業団体を設立しました。

① 富山県勤労者住宅生活協同組合

勤労者に良質で安価な住宅を提供することを目的として、1965 年 7 月に設立しました。
1999 年 4 月に事業目的終了に伴い解散をしました。

② 富山県勤労者信用基金協会

勤労者が労働金庫の融資を受ける時の保証を目的に、1972 年 7 月に設立しました。

③ ㈱富山北モータープール

富山駅北地域の駐車場として、1996 年 1 月に富山市奥田新町に設立しました。
2013 年 10 月に労福協に全事業の事業譲渡を行い、会社解散をしました。

④ ㈱ボルファートとやま

公益法人の監督指針に基づき、当法人の宴会事業を 1998 年 4 月に分離独立をしました。
2013 年 4 月に労福協に全事業の事業譲渡を行い、会社解散をしました。

⑤ 春日温泉観光開発㈱

勤労者の保養施設として、1999 年 5 月に富山市大沢野に設立しました。

(4) 会館保有等

1963 年 12 月に「富山県労働者福祉会館」(富山市新富町)を建設し、1984 年 10 月

に老朽化と手狭により「富山県勤労者総合福祉センター(ボルファートとやま)」を現在地に建設しました。

2012 年策定の「新経営計画」に基づき、当法人並びに関係する事業の経営の効率化を図ることを目的に、2013 年 4 月 1 日に会館の宴会事業を委託していた(株)ボルファートとやまを統合、さらに 2013 年 10 月 1 日に労福協が設立母体となった(株)富山北モータープールの統合を行い、収益事業の一体化を図りました。

2. 定款に定める目的

本法人は、協同互助の精神に立脚して、労働者の経済的、社会的地位の向上のための福祉事業活動の企画及び調整実施を図ることを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

本法人は、目的を達成するため、富山県内において次の事業を行う。

- (1) 労働者の福祉施設の取得、管理維持及び労働者の利用に対する提供
- (2) 労働者の福祉事業活動の企画及び調整に関する事業
- (3) 機関紙の共同発行
- (4) 会員相互の連絡及び業務の改善発展に関する調査研究
- (5) 労働者の生活の改善を図る事業
- (6) 労働者の保健、体育、文化、並びにレクリエーションに関する事業
- (7) 前各号の事業に付帯する事業

4. 会員の状況

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員とする。

(1) 会員計

種 類	当期末	前期比増減
会 員	7 名	—
合 計	7 名	—

(2) 会員名

No.	会員名	No.	会員名
1	北陸労働金庫	5	働く人とこども応援財団
2	こくみん共済 coop 富山推進本部	6	春日温泉観光開発株式会社
3	富山県労働者共済生活協同組合	7	日本労働組合総連合会富山県連合会
4	とやま生活協同組合		

(3) 議決権

総会における議決権は、会員 1 名につき 1 個とする。

5. 主たる事務所

富山県富山市奥田新町8番1号 ボルファートとやま 1 階

6. 役員等に関する事項

2026年3月31日現在

役 職 名	氏 名	
理 事 長	浜 守 秀 樹	北陸労働金庫副理事長
副 理 事 長	宮 崎 敏 裕	連合富山会長
副 理 事 長	鴨 野 浩 一	こくみん共済coop富山推進本部本部長 (富山県労働者共済生活協同組合理事長)
専 務 理 事	藤 井 光 行	専従役員(一般財団法人働く人とこども応援財団とやま理事長)
理 事	寺 岡 富美夫	とやま生活協同組合理事長
理 事	小 西 弘 晃	春日温泉観光開発(株)代表取締役副社長
理 事	柴 田 俊 樹	連合富山副会長
理 事	増 田 明 朗	連合富山副会長
理 事	海 老 征 二	連合富山副会長
理 事	貫 場 宏 治	連合富山副会長
理 事	奥 田 徹 司	連合富山副会長
理 事	浦 島 成 友	連合富山副会長
理 事	能 澤 英 樹	連合富山副会長
理 事	向 井 一 浩	連合富山副会長
理 事	金 山 剛	連合富山副会長(春日温泉観光開発(株)代表取締役社長)
理 事	水 越 晃 子	連合富山副会長
理 事	石 田 康 博	連合富山事務局長
理 事	篠 島 良 幸	連合富山副事務局長
理 事	前 野 寛 子	連合富山副事務局長
監 事	金 木 利 夫	北陸労働金庫営業推進部次長
監 事	山 道 明 子	こくみん共済coop富山推進本部事務局長 (富山県労働者共済生活協同組合専務理事)
監 事	森 内 昌 司	一般財団法人働く人とこども応援財団とやま専務理事
		理事19名、監事3名

7. 職員に関する事項

全体	内訳			
	テナント課	貸室課	駐車場課	福祉事業
16名	6名	6名	3名	1名
5名	1名	2名	1名	1名
21名	7名	8名	4名	2名

Ⅱ. 事業の状況

1. 事業の実施状況

第 32 回定時総会議案書に記載。

2. 重要な契約に関する事項

(1) 当期に締結した多額の長期借入金

北陸労働金庫より外壁修繕資金として 2026 年 1 月 26 日に証書貸付にて 170,000,000 円の借入をいたしました。

(2) 重要な契約

ありません。

3. 役員会等に関する事項(理事会、総会)

第 31 回定時総会議案書に記載。

4. 収支及び正味財産増減の状況並びに財産の状態の推移

事業年度	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期	2026年 3月期
経常収益	404,009	450,679	479,959	497,893	509,948
会費	64,700	73,593	68,100	68,800	71,300
富山県等補助金	6,012	5,444	4,876	4,308	3,742
経常費用	362,189	390,094	426,027	440,751	449,364
事業費	353,580	383,257	417,426	433,550	431,418
管理費	8,609	6,837	8,601	7,251	17,946
当期経常増減額	41,819	60,584	53,932	57,141	60,584
経常外収益	38,270	0	1,365	0	0
経常外費用	4,935	26	5	0	20,000
当期経常外増減額	33,334	△ 26	1,360	0	△ 20,000
当期一般正味財産増減額	75,154	60,479	55,211	57,053	40,480
資産合計	1,306,182	1,300,909	1,311,607	1,394,079	1,509,026
負債合計	471,857	406,065	361,552	386,971	461,436
正味財産合計	834,325	894,843	950,055	1,007,108	1,047,590
出資金					
基金	563,600	563,600	563,600	563,600	563,600
一般正味財産合計	270,725	331,243	386,455	443,508	483,990

5. 資産の状況

(1) 不動産

[単位:千円]

	区分	面積(㎡)	金額	地目・構造等	所在地
テナント課	土地	3,238.08	698,884	宅地	富山市奥田新町 109 他
	建物・建物付 属設備	14,999.00	427,132	鉄筋鉄骨コン クリ 12 階	富山市奥田新町 111-1
		237.18		鉄骨造 7 階	富山市奥田新町 106
	構築物他		57		
	機械装置		0		
	計		1,126,073		
貸 室 課	建物附属設備		9,418		
	計		9,418		
駐車場課	土地	886.99	75,122	宅地	富山市奥田新町 107 他
	建物	11,984.02	86,410	鉄骨造陸屋根 7 階建	富山市奥田新町 106
	機械装置		985		
	計		162,517		
法 人	土地	684.90	0	公衆道路・原 野・用悪水路	富山市黒瀬字大屋割 61-11 他計 11 筆
合 計			1,298,008		

注 1) 不動産の面積は登記簿上の面積

注 2) 駐車場課建物下の土地 2,252.94 ㎡は富山県労働者共済生活協同組合からの借地

注 3) 法人の土地は、富山県勤労者住宅生活協同組合からの無償譲渡

(2) 建物の管理状況

① ボルファートビル

[単位:㎡]

階層別	収益部						共用部	自用部	床面積
	貸事務所	貸店舗	うち未契約		貸会議室	旧屋内プール			
			部屋数	(面積)					
1 階		698.50					1,947.82	305.00	2,951.32
2 階					1,116.00	1,186.00	609.76		2,911.76
3 階					1,327.00		140.42	330.00	1,797.42
4 階					1,415.00		148.92		1,563.92
5 階	562.09						346.03	114.00	1,022.12
6 階	629.97						280.55		910.52
7 階	571.80		1	(57.9)			318.92		890.72
8 階	309.05				96.00		485.67		890.72
9 階	289.50		1	(57.9)	296.00		305.22		890.72
1 0 階	420.78		1	(57.9)			301.94	168.00	890.72
1 1 階							0.00	219.84	219.84
1 2 階							0.00	59.22	59.22
別館	235.93		2	(235.93)					237.18
合計	3,019.12	698.50	5	409.63	4,250.00	1,186.00	4,885.25	1,196.06	15,236.18

② 富山北モータープール

[単位:㎡]

階層別	収益部					共用部	自用部	床面積	
	貸事務所	倉庫	うち未契約		駐車場				(台数)
			部屋数	(面積)					
1 階	235.94		1	(66.61)	1,000.76	40	164.72	63.55	1,464.97
2 階		39.11			1,804.93	73	58.03		1,902.07
3 階		39.11			1,858.58	77	58.03		1,955.72
4 階		39.11			1,858.58	79	58.03		1,955.72
5 階		39.11			1,858.58	79	58.03		1,955.72
6 階		39.11			1,858.58	79	58.03		1,955.72
7 階		39.11			640.89	80	58.03		738.03
R F						33	56.07		56.07
合計	235.94	234.66	1	(66.61)	10,880.90	540	568.97	63.55	11,984.02

6. 資産の状況(有価証券)

出資先／口数	金額(千円)	取得目的
北陸労働金庫出資金 7,025 口	7,025	公益・収益事業目的
春日温泉観光開発㈱ 200 株	10,000	公益・収益事業目的
合 計	17,025	

7. 借入金等の状況

(1) 証書貸付借入金

借入先／区分		金額(千円)	資金目的
北陸労働金庫	テナント課	138,072	当座借越借換資金
北陸労働金庫	テナント課	168,791	外壁修繕資金
自治労富山県本部他労働組合他	テナント課	59,028	建物借入金の借換
合 計		365,891	

8. 基金の状況

(1) 拠出者の状況

拠出者名	基金額(円)	総額に対する割合(%)
北陸労働金庫	235,700,000	41.8
富山労働者共済生活協同組合	160,100,000	28.4
全国労働者共済生活協同組合連合会	82,700,000	14.7
富山県生活協同組合	45,100,000	8.0
日本労働組合総連合会富山県連合会	40,000,000	7.1
合 計	563,600,000	100.0

(2) 募集状況

1) 会館建設を目的とした基金募集(当初は出資金で、特例民法法人の 2011 年度に基金制度に変更)

- ① 基金総額 489,050,000 円
- ② 基金受入日 2011 年 12 月 8 日
- ③ 基金拠出者

拠出者名	基金額(円)	総額に対する割合(%)
北陸労働金庫	221,500,000	45.3
富山労働者共済生活協同組合	139,750,000	28.6
全国労働者共済生活協同組合連合会	82,700,000	16.9
とやま生活協同組合	45,100,000	9.2
合 計	489,050,000	100.0

2) 労福協事業の財政基盤の安定化を目的とした基金募集

① 基金総額 34,550,000 円

② 基金受入日 2013 年 8 月 30 日

③ 基金拠出者

拠出者名	基金額(円)	総額に対する割合(%)
北陸労働金庫	14,200,000	41.1
富山労働者共済生活協同組合	20,350,000	58.9
合 計	34,550,000	100.0

3) 労福協事業の財政基盤の安定化を目的とした基金募集

① 基金総額 40,000,000 円

② 基金受入日 2020 年 8 月 31 日

③ 基金拠出者

拠出者名	基金額(円)	総額に対する割合(%)
日本労働組合総連合会富山県連合会	40,000,000	100.0
合 計	40,000,000	100.0

Ⅲ. 法人の課題

(1) 労福協収益事業の収支改善について

労福協では、将来を見据えた強固な財務体質の確立を目的に、連合富山構成組織・加盟組織および事業団体の全面的な理解と協力を得ながら、経営体質の強化に努めてきました。2007 年度の 5 ヶ年計画に基づき新労福協会費や有利子負債対策に取り組み、2013 年度には「労福協センター・(株)ボルファートとやま・(株)富山北モータープール」の 3 社による事業運営の一体化を実現し、収益事業の黒字化を推進しました。

しかし、2020 年度初頭には、新型コロナウイルス感染症拡大による社会経済活動の停滞が収益事業にも影響を及ぼし、宴会事業を中心に大幅な売上減少が続き、経営が危機的状況に陥りました。この危機を乗り越えるため、同年 9 月に「単年・中期 3 ヶ年経営改善計画」を策定し、宴会事業の縮小(宴会や法会等の直営廃止)、業務の抜本的見直しなどを行い、収益構造改善のための財政基盤再構築を図りました。また、2021 年 6 月にテナント課・貸室課・駐車場課への組織再編を実施し、徹底的なコスト改革を行った結果、2021 年度以降 5 期連続で黒字を達成しました。

(2) ボルファート会館の老朽化対応

1984 年に建設されたボルファート会館は、経年劣化により老朽化が進んでいます。これまでも修繕、改修、取替工事を継続的に実施してきましたが、2023 年 12 月に策定した建物劣化診断・長期整備計画に基づき、今後も年度毎に計画的な改修・修繕を進めていきます。

また、懸案事項であった外壁修繕工事については 2024 年 10 月より着手し 2025 年 12 月に完了しました。

(3) 将来ビジョンと中期経営改善計画

労福協では、収益事業の強化と会館維持を目指し、2024 年度～2026 年度に向けた第Ⅱ期・中期経営改善計画を策定しました。この計画では、収益見通しの明確化や設備修繕費の計画的予算編成などを柱とし、「収益事業強化と施設維持」を進める取り組みをさらに強化していくとともに今後の労福協の将来ビジョン明確にします。

「ボルファートとやま将来ビジョン検討委員会」を設置し施策などのあり方について協議を進めていきます。

Ⅳ. 株式を保有している場合の概要

- ① 名称 春日温泉観光開発株式会社
- ② 事務所の所在地 富山市春日 96 番 1
- ③ 資本金 100,000,000 円
- ④ 事業内容 旅館業
- ⑤ 役員数及び代表者 取締役 8 名、監査役 3 名
代表取締役 金山 剛
- ⑥ 従業員数 68 名
- ⑦ 当法人の保有数等 200 株(1.3%)
- ⑧ 保有する理由 2013 年 10 月 1 日における株富山北モータープールからの全事業譲渡に
ともなう株式の取得で、当法人の事業目的に合致する労働者福祉の
保養施設である
- ⑨ 当該株式の入手日 2013 年 10 月 1 日
- ⑩ 当該会社の関係 当法人の会員である。

Ⅴ. コーポレート・ガバナンス

(1) 労福協の内容及び内部統制システムの整備

総会・理事会や各種委員会で適切な相互牽制を通して経営状況の監視を行っています。

- ① 総会
- ② 理事会
連合富山の構成組織の役員や福祉事業団体の役員の 23 名(理事 20 名、監事 3 名)で構成されています。
- ③ 経営委員会
労福協理事長・副理事長・労福協専務理事等の 4 名から構成されており、公益・収益事業の労福協事業全般の経営把握・指導を行っています。
- ④ 企画委員会
当法人の会員常勤役員と労福協専務理事の 7 名で構成されており、事業計画の具体化、会員間調整、理事会からの諮問事項等について協議を行っています。
- ⑤ 事業運営委員会・あり方検討委員会
労福協専務理事・ボルファート事業部支配人等の 8 名で構成されており、収益事業運営の把握と推進を図ることを目的とし、執行状況を把握し、円滑適正に運営されるために必要な事項を協議し指導を行っています。

(2) 顧問税理士法人

あおぞら経営税理士法人 富山市東町 1-6-6

代表社員 松村 篤樹

毎月、福祉・収益の全事業の会計業務の監査を受けています。

顧問税理士法人と労福協の間には、特別な利害関係はありません。